



F. M.

Answer

ご褒美を欲しがる小学生の娘

どう対応すればいいですか？

Question  
1

スポーツ系の習い事をしている小学生の娘は、「友達は試合の成績がよかったら〇〇に連れて行ってもらえるんだって」と、うらやま

しがります。それががんばれるのならばご褒美もいいと思いますが、夫は反対。どうすればいいでしょうか。  
(30代後半・母親)

を楽しむという内発的動機に転換される必要があります。自発的にやるはずと意欲が高まりますから。

■自発性を促すように

親の側も、物やお金で子供のモチベーションを上げることには抵抗を感じたり、ご褒美で子供の自発性が育つのか、という疑問が出てくるでしょう。小学校も高学年になると、ご褒美では心を動かさなくなります。

自発的に取り組めるようになるには、子供の話をよく聞いてあげ、子供ががんばりを認めてほしいときに、好きな献立で応えてあげたらどうでしょうか。一緒に喜んであげれば、子供も「またがんばろう」という気持ちになりますよ。

「褒美」でがんばる気になることはありますが、その場合も、習い事や勉強などの行為そのものが楽しいと思えるように転換されることが大切です。

■ご褒美は有効か

ベネッセ教育情報サイトによると、子供が学習面で「やる気が出る場面」として保護者が挙げたのは、第一が「学習の内容が楽しいとき」で、次に「物やゲーム時間など、何らかのご褒美があるとき」でした。ご褒美があると、がんばるきっかけはなるようです。

目標に達したら「ゲーム時間

を延ばしてよい」「お小遣いをアップする」「旅行先で好きなものを買ってあげる」などが挙げられ、子供にとっては交渉力を身につける機会になっているかもしれない。

ご褒美が逆効果になることもあります。「100点とったら100円あげる」という約束をしていたのに、勉強がだんだん難しくなると「100点は取れない」と諦めて、意欲が低下しかねません。目的が「勉強をがんばる」という「行為」から「報酬」にすり替わるからです。

金銭や物、評価などの外発的動機であっても、行為そのもの